

科目名	履修学年	単位数	教科書	副教材等
生物	2	2	生物（数研出版）	リード Light ノート生物（数研出版）

評価の観点	到達目標および評価の内容
a 知識・技能	日常生活や社会との関連を図りながら、生物や生物現象について理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。
b 思考・判断・表現	観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。
c 主体的に学習に取り組む態度	生物や生物現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度と、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養う。
評価の方法	
各定期考査、単元テスト、課題等の提出状況、学習活動への取組などの総合評価となります。	

年間指導計画											
前期						後期					
月	予定 時数	学習内容	評価の観点			月	予定 時数	学習内容	評価の観点		
			a	b	c				a	b	c
4	7	第1章 生物の進化 第1節 生命の起源と生物の進化	○		○	10	6	第3章 代謝 第1節 代謝とエネルギー	○		
5	7	第2節 遺伝子の変化と多様性	○			11	7	第2節 呼吸と発酵		○	
		第3節 遺伝子の組み合わせの変化		○				第3節 光合成		○	
6	7	【前期中間考査】				12	6	【後期中間考査】			
7	5	第4節 進化のしくみ	○			1	4	第4章 遺伝情報の発現と発生 第1節 DNAの構造と複製	○		
		第5節 生物の系統と進化	○					第2節 遺伝情報の発現	○		
		第6節 人類の系統と進化			○			第3節 遺伝子の発現調節		○	
8	3	第2章 細胞と分子 第1節 生体物質と細胞	○			2	7	【後期期末考査】			
9	6	第2節 タンパク質の構造と性質		○		3	5	第4節 発生と遺伝子発現		○	
		【前期期末考査】						第5節 遺伝子を扱う技術			○
		第3節 化学反応にかかわるタンパク質		○							
		第4節 膜輸送や情報伝達にかかわるタンパク質	○								
計 70											

※原則として一つの単元ですべての観点について評価するが、特に重点的に評価を行う観点について○をつけている。

履修上および学習上の留意事項

- ・教科書、副教材等は毎回持参し、身だしなみを整え、状況に応じた態度で授業を受けること。
- ・授業の前半はスライドを用いて説明を行い、後半は学んだ内容から自らまとめ、思考する形式を基本とする。
- ・知識のインプットだけではなく、アウトプットにも重点を置き、他者へ説明する力を育成する。